

2021年5月3日～5日 北アルプス 明神岳南西尾根5峰
メンバー；L谷内、野中、結城

雪解けの早い年でさびしいゴールデンウイークになるのかなあという予想が一転して舞い戻った寒波による新雪に覆われた岳沢にて、唯一の好天日をとらえ南西尾根から明神岳5峰を踏んでくることができました。

5/3 くもり～夕方まで風雪

AM5時茅野発 - 6:20 沢渡駐車。前日までの悪天のためか駐車場も空き気味。偶然にも知人と遭遇し4人となつたので待ち時間なくタクシーに乗り込み上高地へ - 7:10 上高地発 - 岳沢登山道に入つてすぐの⑨番標識辺りからきれいな新雪が現れ快適に高度を稼ぎ 9:52 岳沢小屋着。寡雪のため小屋上段のみがテント指定地となっている。コロナの影響もあり幕営料が2000円/人/日と値上がりしているのは致し方ないか（ビールは500円と据え置きで一安心）。設営後、雪面観察、弱層テスト、ロープワークのおさらいなど行つが、昼過ぎ頃から風雪状態と崩れてくる。前々日からの降雪約20センチにこれから的新雪が加わり、明日は連休中唯一の好天で気温上昇も予想されるなかルンゼルートは雪崩必発と思われ、明日の行程を尾根ルートとして南西尾根から明神5峰を目指すことにする。

5/4 快晴

AM4時発 - 4:33 標高1700m⑦番標識取り付き。ちょうど明るみだし前日につけられたと思われるトレース跡をたどり 4:50 登高開始。樹林帯のひたすらの急直登でしんどし。尾根がヤセてくるとトラロープが出始め細い岩稜帯を迎える。フィックスロープを利用しながら確保なしで通過したがややスリリングであった。その後急なダケカンバ帯を抜け上ると森林限界で展望が開けてくると同時に風が強まりしっかり着込んでから5峰基部台地へ。19年前の正月山行時はここから主峰ピストンを行つており、今回はやり残しとなつていた5峰に向かう。正面の岩場を避け左手から回り込むようにして 9:37 古いウッドシャフトピッケルの立つ5峰山頂着（標高2726m）。皆でかたい握手をかわし、ぐるりの冬山と化した景観を楽しむ。下山は往路を忠実にたどるが気温上昇とともに雪がぐさり始めアイゼンのだんごに気を付けながらの下降でスピード上がらず。雪崩の轟音とヘリの音も聞こえ始めてくる。くだんの岩稜はロープを出し懸垂で下降。13:30⑦番取り付き帰着。この先標高差500mの登りでいじめられヘロヘロになりながら 15:30 ベース帰着。河原から見ると全ての沢筋が幅広いデブリだらけとなつており、滝沢大滝も間断なく流れ落ちる雪の滝と化して

いる。暗いうちから行動し始めスピードィーに行動できるパーティーであってもある一定の確率でやばさのありうる一日であったと思われる。タクシーに同乗した知人から差し入れてもらった乾杯ビールが身体の隅々までしみわたる至福の一時を過ごせたことを山の神様に感謝としよう。

5/5 くもり～雨

AM4 時起床 - 5:30 下山 - 丁度のタイミングでポツポツ降り始めるなか 7:10 上高地着。無事下界の人となれました。